

第24回カモメ・わくわく倶楽部リフト付バスで行く日帰りツアー 花ぐもりの中、ひらほら咲きの丹波篠山

去る4月5日(日)、第24回カモメ・わくわく倶楽部リフト付バスで行く日帰りツアー<丹波篠山の旅>を開催しました。今回からバスツアーを土曜日から日曜日に変更したため、事前に案内を送ったにもかかわらず、前日と間違えて集合場所に来られた方や、バスツアーを開催しない月に、ほぼ毎月開催しています「おでかけツアー」の集合時間と誤解されたグループもいて、1時間遅れて森ノ宮を出発しました。参加者は初めてご参加いただいた方々を含め18名と、お馴染みの添乗員の海鷗トラベル 行澤さんとともに、花曇の中、いざ篠山へ。

<当日の旅行コース>

10:00 森の宮 ⇒ 11:00 お菓子の里丹波 11:50 ⇒ 12:00 新たんば荘(昼食) 13:00
⇒ 13:20 鳳鳴酒造・フリータイム(篠山城址 etc.etc) 17:00 ⇒ 18:30 森の宮着

のどかな『お菓子の里丹波』

高速道路は料金が安くなり、花見の行楽地に向かう車で混んでいるだろうと、高をくぐっていましたが、意外とスムーズに走れ、1時間強で『お菓子の里丹波』に到着。車中、今回は「お花見セット」としてお茶や発泡酒、つまみを参加者に配りましたが、配った途端に開けられる方もいらっしゃいました。

『お菓子の里丹波』は、地元で採れた黒豆が入ったおかき類、他の和菓子、洋菓子、様々なお菓子類がありました。また中央にベンチも設置した広い庭があり、その庭を囲むように転々といくつかの建物がありました。本館以外に、薫草きの家ではおだんごやお抹茶、洋館ではケーキ類、ヨーロッパの古い家を思わせる建物にはドイツのソーセージやビール、パンが、それぞれ建物によって食べられるようになっていて、時間があれば、洋館で春の香がする風景を見ながらケーキのんびりと食べたい気がしました。参加者はそれぞれ見学等しておられました。

町家に酒林が吊られていた『鳳鳴酒造』と ちらほら咲きの『篠山城跡』等の町並み散策

『お菓子の里』を出て短時間で「いこいの宿『新たんば荘』」に到着。そこで1時間の昼食タイムでした。そして篠山市の中心街へ。

その中心街の一角に、酒林が吊らされた『鳳鳴酒造』がありました。町家で、奥が酒造りの見学コースになっていましたが、奥に出るところに段があり、車いすではその段を乗り越えることができず、車椅子の方は裏口に回ってから見学しました。そしてお楽しみの試飲コーナーでは色々な種類のお酒を試飲し気に入った味のお酒を買って帰る方もいらっしゃいました。



見学後はフリータイムで、参加者それぞれ散策を楽しみました。

丁度城跡一帯は「さくらまつり」が開催され、出店やステージ会場があつて、観光客や市民の方々に賑わっていました。肝心の桜は5分咲きでしたが、城跡に行かれたり、城跡の中にある『篠山城大書院』や『歴史資料館』等に行かれたり、また黒豆入りのコロッケを『大正ロマン館』で休憩がてら召し上がっておられました。

帰路は恒例のビンゴゲームで盛り上がりました。帰りも車が混んでいると思っていましたが、中国道で少し渋滞しただけで、予定していた時間より1時間ぐらい遅れて森ノ宮に帰着しました。